雲南市立地適正化計画策定業務に係るプロポーザル実施結果

雲南市立地適正化計画策定業務に係るプロポーザル受注者選定委員会を設置し、審査を行った結果、最も優秀な提案をするもの（以下「最優秀提案者」という。）として、株式会社エブリプランを選定した。

１　審査結果

最優秀提案者	株式会社エブリプラン 代表取締役　河原　八郎
次 点 順 位 者	ランドブレイン株式会社　松江事務所 所長　八木　周吾

２　選定委員会

区　分	所 属・役 職	氏　名
委員長	京都府公立大学法人　京都府立大学　教授	宗田　好史
委　員	公立大学法人　島根県立大学　准教授	藤居　由香
委　員	一般社団法人　島根県建築士会　常務理事	田中　昌子
委　員	雲南市　副市長	藤井　　勤
委　員	雲南市　政策企画部　部長	西村　健一
委　員	雲南市　建設部　部長	西川　　徹

３　審査の経緯

（１）一次審査（書類審査）

令和２年４月１３日に、プロポーザルに関する公告を行ったところ、令和２年４月２４日までに、参加意向申請書等の提出が８者よりあったことから、評価基準に基づき、上位３者をヒアリングの対象者として選定した。

（２）二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）

令和２年６月２７日に、参加意向申請書の提出受付が遅い者からの順で、提出者による提案内容等についてのプレゼンテーション及び選定委員によるヒアリングを行った。

選定委員会では、技術提案書及びプレゼンテーション・ヒアリングの内容に関する評価に加え、提出者の取り組み意欲等に対する評価を合わせた結果を踏まえて審査を行い、最優秀提案者及び次点順位者各１者を選定した。

なお、審査においては、選定委員の意見が分かれ、僅差により最優秀提案者を決定した。

４　選定理由

雲南市立地適正化計画策定業務に係るプロポーザル受注者選定委員会において、あらかじめ提案者に求めた６つのテーマについて、実施要領（別表）評価基準に基づき、審査を行った。

各提案者から、本市の状況を踏まえた提案をいただいたが、最優秀提案者である株式会社エブリプランの提案は、本市の地域特性・課題等を的確に捉えた上で、立地適正化計画区域外となった地域への対応について具体的な提案があったほか、幅広く多様な視点から分析・評価する手法、また、全てのテーマにおいて高評価された点など計画策定が期待できる提案であったことから、最優秀提案者として選定した。

５　総評

本プロポーザルは、平成 26 年に改正都市再生特別措置法で制度化された「立地適正化計画」の策定にあたり、雲南市における地域特性を理解しつつ、まちづくりの計画に関する高度な知識と豊富な経験を有し、価格の安さだけではなく優れた提案を行う事業者を選定するため、公募形式により実施された。

また、雲南市では、「第 2 次雲南市総合計画」で示されている行政、医療、商業の賑わい、産業等の集積を目指す中核拠点ゾーン内に居住や都市機能を立地させる区域を具体的に示し、本市が合併以来進めてきた市内の小さな拠点と市の中心部である中核拠点ゾーンが交通ネットワークでつながり、持続可能な都市構造の構築を目指す計画とすることから、既存の「雲南市都市計画マスタープラン」における、まちづくりの基本理念や都市構造の将来像と整合を図ること、併せて公共交通（地域公共交通網形成計画）のほか、商業、住宅、医療・福祉など多様な分野の計画と連携を図りながら策定を支援する提案を求めた。

こうした状況を踏まえ、各提案者から雲南市の特性を踏まえた独創性のある提案を多

くいただくことができた。

選定委員会では、これらの提案に対し、評価基準に基づき二次審査を実施し、選定理由のとおり選定した。

今後、最優秀提案者である株式会社エブリプランには、提案内容に基づき計画的に取組みが進められることで、他市に無い雲南市の地域特性を生かしたオリジナリティある計画の策定を一同期待する。

最後に、本プロポーザルにご参加いただきました上記事業者を含む８者の皆様におかれましては、資格審査書、技術提案書等の作成及びヒアリングに貴重なお時間と努力を費やされ、真摯に努力いただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。

（プロポーザル受注者選定委員会）